



奄美市は、温暖多雨の亜熱帯海洋性気候に属しており、作物の生育に適した条件に恵まれていますが、病害虫の発生や生産阻害の要因のほか、台風などによる農作物の被害もあります。

本市の重点振興作物であるサトウキビでは、経営安定に対応するため、栽培面積の拡大と機械化体系及び病害虫対策の徹底を図り、単位収量の増大と品質向上に努めています。

また畜産は、増頭、優良雌牛への更新とともに、子牛の商品性向上に取り組み、口蹄疫や鳥インフルエンザ発生に備え家畜防疫体制の強化を図っているところです。

亜熱帯海洋性気候を活かした果樹の振興や、カボチャなどの野菜等の振興については、生産組織化の強化を図りながら高付加価値ブランドの創出を推進し、生産施設・資材の導入を支援して農家の経営安定を図っています。

平成23年度から出荷基準の統一化のために建設中である奄美大島選果場整備では、広域的に取り組み、共販体制の確立と、品質向上による販路拡大を図っていきたいと考えています。今後も農業後継者育成事業による新規就農者の育成・確保に努めながら、担い手の基盤となる認定農家の育成等を図っていきます。

Amami City is situated in a subtropical maritime climate with temperate rain ideal for the growth of crops, but agricultural pests and typhoons also cause damage. Subtropical fruit is cultivated in addition to sugarcane and livestock.

温暖な気候を生かしたブランド品の創出を
Creating warm climate brands



養鶏業 Poultry Farming

養鶏場を見回る南 利郎さん



新鮮で良質な鶏卵を、洋菓子に。六次産業化に向けての取り組みが評価されている。

付加価値の高いマンゴー



サトウキビ専業農家の榮 完治さん。2人の息子とともに、現在23ヘクタールの圃場を耕作。自作中心に自家のハーベスター3台を稼働させ、高齢化などによる収穫作業の委託も受託している。笠利地区では、年々ハーベスターによる収穫が進んでいる。



収穫されたサトウキビは、ほとんどが富国製糖で粗糖に加工される。

タンカン
味、量とも奄美が誇る
代表的みかんで、
濃厚な甘さとやわらかさ、
芳香が自慢。
収穫期は2~3月。



元井農園では家族協定をむすび、親子でタンカン収穫に励む。



ハウスでのマンゴー栽培

果樹



ハウスや
平張り施設において、
キクやスターチス
などの花き栽培も
行われている。



活用が期待される公設卸売り市場

タンカンなどの栽培技術開発
を積極的に行っている平井孝
宜さん。父親とともに認定農業
者で新しい果樹づくりにも意
欲を燃やす。



ハウスでのパッションフルーツ栽培